

決算
常任委員会

9月議会定例会
付託案件 8件

議案第80号

全体について主な質疑

問 令和元年度において平年と比べて構成比率が大きく変わったところがありますか。

答 性質別の決算額として普通建設事業費が大きく差が出ています。

問 市有地の財産収入が前年度対比で落ちてきているがなぜか。

答 売却した土地の面積や評価が前年と比べて低く、そこから大きな差が出ています。

問 自主財源の6.9%の減と財政分析指標の中で経常収支比率が1%上がっているが、今後の見通しについては。

答 自主財源の比率に

ついては、市税等について景気の回復で伸びが見られた。しかし、財産の取扱いや処分によって諸収入は減っている。経常収支比率に

関しては、人件費が増えたのが主な要因である。なお、今後、人件費については、職員の

定員適正化などの管理調整を行い数値は抑えていきます。また、新型コロナウイルス感染症によって見通しのつきにくい経済状況の中で、財政の運営はなかなか難しいが、社会情

勢を確認して財政運営に影響をきたさないように努めていきます。

特に財政調整基金については、標準財政規模の10%は確保していきます。

問 指定管理制度について、サービスの質を少し落としてでも指定管理料を引き下げる考えはありませんか。

答 指定管理期間があり各所管課にて経費の削減、行政サービスの継続、効率化を図りそのたびに見直しをしていく予定です。

問 庁舎維持管理費の中の役員費、手数料の金額が大きいが減額のための努力については。

答 東庁舎だけでなく西庁舎や出先機関などを含めているため大きくなっている。今後、古紙回収に出せるものは出すなど可燃ごみ減少に努めていきます。

問 移動図書館のニーズは上がっているが、車の維持管理を行う上でクラウドファンディングなどを利用する考えはありますか。

答 移動図書館の改造には多額の費用が掛かるが、どれほど市費が出せるか、また浄財の確保について検討し

ていきます。

産業振興戦略局
問 地方創生推進農福連携事業で国の交付金を活用して付加価値の高い野菜を創出するとあるが、その実績については。

答 龍谷大学と連携して「エンサイ」という野菜を決めたが、日持ちしないデリケートな野菜という事で広められませんでした。

問 魅力発信拠点施設HATの指定管理料は872万円だが、実績と今後については。

答 経営状況は2年を経過しているが大変厳しい状況である。今後については、指定管理期間を2年延長して、どれだけ収益があげられるか、仕入れも「ここぴあ」との連携によってできるだけ安くできるかなどを考え、みらい公園一帯で集客を増やす取り組みを行

います。

健康福祉部
問 生活保護の扶助費のうち医療扶助が毎年突出しているが、医療扶助が広がらないための検査体制はどのよう

にとつていますか。

答 ジェネリック医薬品の処方が強化され、医療費の抑制につながっていると思われるが、医療費を多く使っている方の現状を確認し、医療費削減のための対応は、今後も考えていきます。

総合政策部
問 地域自然エネルギー活用事業のイモ発電について、当初とは違う取り組みになってきているのではないか。

答 地方創生の推進交付金を活用し、農福連携事業という位置付けをしてイモ発電だけでなく、六次産業化の可能性を探り商品開発に取り組んでいきます。

経常収支比率は高い水準となっているが、職員定数を下げてまで人件費を抑えるべきでない。10月からの消費税率引き上げや幼児教育・保育無償化などの

国策により、自治体に財政的負担や人材や事務量の負担も増加した。無償化によって、需要が高まり保育士不足となり、待機児童も生み出し保育の質も低下させた。保育園、こども園の改修と併せて中学校やその他の公共施設

のトイレの洋式化が必要である。事業の大きさにかわらず、事業進捗状況の情報発信が不十分と感じており、これらを指摘し改善を求めます。

賛成討論

単年度収支は、2億2千万1641円の黒字会計となった。市税の徴収率も前年度より